

2023 年度 部局 FD 活動報告（最終版）

理学部・理学研究科

1. 各部局の FD の検討・実施体制を書いてください。（必ずご記入ください） ・教育改革委員が理学 FD 委員会を組織 ・教育改革委員会の議事録、議事資料等の全情報を理学 FD 委員会に開示、共有 ・各学科・専攻においては独自かつ自由な FD 活動を実施 ・理学 FD 委員会で各学科・専攻の活動を報告		
2. 教育改善・教育評価・FD に関する講演会、セミナー、ワークショップ等の開催		
○数学科・数学専攻 数学科 FD ミーティングを、大阪公立大学として統合後、杉本、中百舌鳥両キャンパスにおける前後期講義に関する意見交換、今後に向けた課題に対する認識及び共有を図ることを目的として定期的に開催している。		
開催日	内容（タイトル）	参加者数
4/2	新入生カリキュラムオリエンテーション	33 名(新入生)
1/12	卒業研究配属説明会（中百舌鳥）	約 40 名
2/2	修士論文発表会（杉本）	約 30 名
2/8	修士論文発表会（中百舌鳥）	約 25 名
2/9	卒業研究発表会（中百舌鳥）	約 50 名
2/15	理学研究科 FD 委員会・大阪公立大学数学研究所共催 FD 研修会「人工知能と数学」	58 名 (参加登録者数)
○物理学科・物理学専攻 教室会議・運営委員会における教員間の情報共有と議論、談話会における学外者による講演、学生ガイダンスや 3 年生への研究室紹介における学生からのフィードバック、修士論文発表会・博士論文公聴会における教育成果の検証。		
開催日	内容（タイトル）	参加者数
4/12	新入生歓迎セミナー	約 80 人
11/27～12/22	研究室訪問	約 40 名
12/26	研究室年末発表会	約 70 名
2/6～2/8	修士論文発表会	約 80 名
2/15	卒業論文発表会	約 60 名
1/26,1/31, 2/19, 2/22	博士論文公聴会	約 30 名
○化学科・化学専攻 専攻会議、教室会議において教員間の情報共有と議論、談話会等における学外者による講演等を通じて FD 活動を行っている。		

開催日	内容（タイトル）	参加者数
	化学科・化学専攻	
4/2	新入生ガイダンス	約 90 名
8/10	大阪公立大学化学セミナー	約 150 名程度
2024/1/12	研究室ガイダンス	約 60 名
2023/1/31	学位論文公聴会	35 名
2/6, 7	修士論文発表会	約 100 名
2/8	卒業論文発表会	約 150 名
○生物学科・生物学専攻		
生物学専攻会議において、教員間の情報共有と議論を通して FD 活動を行っている。		
開催日	内容（タイトル）	参加者数
4/2	学年ガイダンス	各学年の学生も含めて平均 30 名
6/20, 12/22	学位公聴会	学生を含めて 50 名程度
2/8	修士論文発表会	学生を含めて 150 名
1/25, 26	研究室ガイダンス	学生を含めて 35 名
2/14	卒業研究発表会	学生を含めて 150 名
○地球学科・地球学専攻		
地球学科構成員全員で、カリキュラム、成績評価、履修状況などの情報を専攻会議などの場で共有し、課題や対策の議論を通じて、FD 活動を進めている。		
開催日	内容（タイトル）	参加者数
4/2	新入生ガイダンス	学生 27 名と教員 15 名
4/2	大学院新入生ガイダンス	学生 14 名と教員 3 名
7/31	3 年生の履修状況確認と研究室の配属ガイダンス	3 年学生 24 名と教員 11 名
12/20	地球学演習Ⅲの発表会、研究室の配属ガイダンス	1 から 3 年学生 約 70 名、教員 12 名
2/8	修士論文発表会	学生約 40 名、

		教員 16 名
2/15	卒業研究発表会，研究室配属ガイダンス	1 から 3 年学生 約 70 名，教員 12 名
○生物化学科・生物化学専攻 生物化学科専攻会議構成員（生物化学専攻教授、准教授、講師）が主体となり、当該専攻および学科の FD 活動を実施している。授業内容に関しては、授業ふり返り（授業評価アンケートを含む）の実施ならびにその回答を活用し、専攻会議構成員内で共有し、FD 活動の促進を図っている。		
開催日	内容（タイトル）	参加者数
4/2	新入生オリエンテーション	学生を含めて 51 名
4/4	授業の質向上研修会	12 名
6/8	研究室ガイダンス	学生を含めて 50 名
9/11	修士 1 年 研究発表会	学生を含めて 34 名
9/12	修士 2 年 研究発表会	学生を含めて 40 名
2/19	博士論文公聴会	学生を含めて約 20 名
2/22	修士論文発表会	学生を含めて約 50 名（予定）
2/29	卒業研究発表会	学生を含めて約 70 名（予定）
3. 教育改善・教育評価・FD に関する会議、委員会等の開催		
会議・委員会名	内容・開催日 (複数回の場合は「第 1 回（*月*日）～について」 「第 2 回…」と記載)	委員の人数
第 1 回理学 FD 委員会	令和 6 年 3 月 6 日（水）オンライン 理学研究科に送られてきた一年生、二年生、上級生アンケート調査集計結果について FD 委員会としての意見集約「学生調査から読み取れる課題」を行った。	7 名 (理学 FD 委員)
数学科 FD ミーティング	第 1 回 8 月 24 日（木），第 2 回 2 月 29 日（木）． 杉本，中百舌鳥両キャンパス数学科専任教員が集合する年度内 2 回の機会を FD ミーティング開催に活用している． 前後期講義に関する意見交換及びそれらに対する今後の	40 名 (数学科専任教員)

	課題を共有することを目的として実施している。	
物理学教室 教室会議	「専攻長会議教務事項報告を受けて」 4/25, 5/30, 6/27, 8/1, 8/29, 9/29, 10/27, 11/24, 12/22, 1/26, 3/1, 3/29	46 名
物理学教室運営委員会	「修士論文について」 4/19, 5/31, 6/7, 6/21, 7/5, 12/13, 1/10 「博士論文について」 1/10, 1/24 「年次報告について」 4/19 「教育国際化について」 4/26, 5/17, 12/20 「研究室配属について」 5/31, 6/7, 6/21 「学部・大学院入試について」 6/21, 7/19, 8/30, 9/13, 9/27, 10/11, 11/15, 12/20, 1/31 「単位認定について」 9/13 「キャリア支援について」 11/1 「配慮が必要な学生について」 12/20	25 名
化学専攻会議(Zoom)・ 化学科教室会議(メール会議)	「大学院入試について」 2022/4/14, 5/12, 6/16, 7/15, 10/13, 12/15 「学部入試について」 7/14 「学位論文の申請・評価基準について」 4/14 「研究指導教員等について」 10/13 「研究室配属について」 10/13	約 45 名参加
生物学専攻・生物学科 教室会議	「大学院入試について, 学部入試について」 5/1, 6/1, 8/3 「大学院推薦・飛び級入学について」 8/3 「学生教育経費について」 8/3, 12/7, 1/9 「学部専門実習のプログラム再編について」 10/5 「指導教員について」 5/1 「学部学生の所属研究室について」 6/1, 7/3, 9/19, 3/4 「修士論文発表会について」 9/19 「学位申請について」 7/3, 10/31, 12/7, 1/30	平均 23 名参加
生物学専攻・大学院運 営委員会	「学位申請について」 6/20, 12/22	平均 10 名
地球学専攻会議	第 1 回 5 月 30 日 学部のカリキュラム, 履修について. 第 2 回 6 月 27 日 大学院入試について. 総合教養科目「現代科学と人間」について. 学部専門科目のカリキュラム, 履修について. 学部入試について. 第 3 回 7 月 25 日 大学院入試について. 第 4 回 8 月 25 日	平均 15 名

	大学院入試について。 第 5 回 9 月 26 日 大学院のカリキュラム，履修について。 学部専門科目のカリキュラム，履修について。 第 6 回 10 月 31 日 大学院入試について。 基幹教育科目「地球学実験 C」の運用について。 第 7 回 11 月 28 日 大学院のカリキュラム，履修について。 基幹教育科目「地球学実験 C」の運用について。 学部専門科目のカリキュラム，履修について。 第 8 回 12 月 19 日 大学院のカリキュラム，履修について。 大学院入試について。 学部の専門科目のカリキュラム，履修について。 第 9 回 1 月 30 日 大学院のカリキュラム，履修について。 総合教養科目「現代科学と人間」について。 基幹教育科目「地球学実験 C」の運用について。 学部の専門科目のカリキュラム，履修について。 第 10 回 2 月 27 日 大学院入試について。 第 11 回 3 月 26 日 大学院入試のカリキュラムについて。	
生物化学専攻・生物化学 学科教室会議	第 1 回（4 月 20 日）「府大生物科学課程の授業（再履修者対象）の日程調整、学生実習の内容調整、研究室ガイダンスについて」 第 2 回（5 月 18 日）「2023 年度前期履修状況の確認、新入生保護者懇談会のプログラム作成、復学学生に対する学習指導について」 第 3 回（6 月 15 日）「修士課程 1 年および 2 年の発表会について」 第 4 回（7 月 20 日）「オープンキャンパスの開催内容について、大学院入試について」 第 5 回（9 月 21 日）「再履修者対象の授業について」 第 6 回（10 月 29 日）「2024 年度の時間割作成について」 第 7 回（11 月 16 日）「新入生カリキュラムオリエンテーションの開催内容について、森之宮キャンパス移行後の時間割について」	平均 13 名

	第 8 回（12 月 21 日）「公大授業について、博士後期課程の学位論文の取扱いおよび審査について」 第 9 回（1 月 18 日）「2024 年度開講の集中講義について、修士・博士新入生オリエンテーションについて」 第 10 回（2 月 15 日）「2024 年度の教務・カリキュラムについて、修士論文、卒業研究発表会について」 第 11 回（3 月 21 日予定）「学生の就学状況（学生異動・成績を含む）などについての情報の把握と共有、学生の修学指導について」	
4. 上記以外の教育改善・FD に関する取組（但し、成績 GP 分布関連は次項に）		
理学部・理学研究科全体の当初取組予定を記す。 （1）シラバスを活用した授業科目間の連携強化 （2）大学院博士前期課程の研究教育の充実 （3）デジタルコンテンツの拡充と活用の推奨、chatGPT への対応 （4）学期ごとの単位修得状況の把握と成績不振な学生に対する学習相談 （5）他部局または学外における F D 活動に関する情報共有 （6）ポートフォリオシステム（ていら・みす）活用の推奨 上記項目について各学科・各専攻レベルもしくは各担当者レベルで取り組みを行っているところである。		
理学研究科数学専攻・数学研究所(OCAMI) は、数学教育の充実を図るため、学生、教職員、研究者、一般の方を対象に、大学院教育をはじめとする新しい数学教育の展開のための FD 研修会を、多様な分野から研究者を招聘し開催している。これは、阪市大数学教室の FD 活動に遡り 10 年以上の活動実績がある。阪公大数学科は、この FD 研修会を継承し FD 活動として実施している。		
「物理学演習 1」担当者（教員 4 名）による担当者会議（講義期間中断続的に開催）。 「物理学実験 WG」（担当教員による会議）を講義期間中に断続的に開催。 オムニバス科目の担当者による担当者会議（講義期間中に断続的に開催） 学生アドバイザーによる学生との個別面談（年 1, 2 回） 動画による講義補助（複数の教員が実施） 年次報告書を作成し、教育活動・成果について共有 学生実験のテキストを作成		
生物学科・生物学専攻においては、学生の単位習得状況の把握と学習相談について、各学年の担任・副担任が主体的に活動を行うとともに、学科・専攻教授会において議論を重ねている。また、オムニバス授業に関して、随時担当者間での議論を行っている。		
地球学科においては、授業科目間の連携を強化するため、他科目のシラバスの確認や教員間での情報共有をおこなった。ポートフォリオシステム活用を促進するため、学科内で周知をおこなった。学生アドバイザー、科目担当者を中心に、学生の単位修得状況の把握と成績不振学生に対する対応をおこなった。		
生物化学科では時間割やシラバス登録内容など、課程内の教務・カリキュラム上の意見調整などを行		

った。また、授業ふりかえりの学生の回答率を上げるための周知方法の検討を行った。また、回答があったものについては、その回答を基に、授業の設計、実施の見直しなどの検討を行った。
5. 成績 GP 分布、GPC データの分析に関連する事柄（必ずご記入ください）
第 2 回数学科 FD ミーティングにおいて、市大、府大 3 年次学生の G P C データを共有し、卒業研究指導、進路指導、次年度以降の授業の準備に活用することなどを議論する予定である。
物理学科教室会議でデータを共有し、分析・検討を行った。
化学科・専攻内でデータを共有した。今後の各自担当講義の成績評価の参考とする。
生物学教室内で情報をシェアし、各自担当講義の成績評価の参考とする。
地球学教室内で成績 GP 分布、GPC データに関して、学科内で情報共有・分析するとともに、今後の対応を議論した。
生物化学科および専攻内にて情報を共有し、次年度の検討課題とした。
6. 年に 1 回以上、FD 活動に参加した専任教員の人数〔実数〕（必ずご記入ください）
・年に 1 回以上、FD 活動に参加した専任教員の人数 （ 40 ）人
・数学専攻所属内の専任教員の人数 （ 40 ）人
・年に 1 回以上、FD 活動に参加した専任教員の人数 （ 46 ）人
・物理学専攻所属内の専任教員の人数 （ 46 ）人
・年に 1 回以上、FD 活動に参加した専任教員の人数 （ 45 ）人
・化学専攻所属内の専任教員の人数 （ 45 ）人
・年に 1 回以上、FD 活動に参加した専任教員の人数 （ 27 ）人
・生物学専攻所属内の専任教員の人数 （ 27 ）人
・年に 1 回以上、FD 活動に参加した専任教員の人数 （ 15 ）人
・地球学専攻所属内の専任教員の人数 （ 15 ）人
・年に 1 回以上、FD 活動に参加した専任教員の人数 （ 17 ）人
・生物化学専攻所属内の専任教員の人数 （ 17 ）人
7. その他、追記事項